

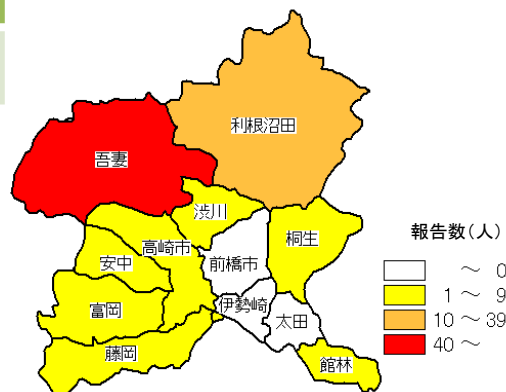
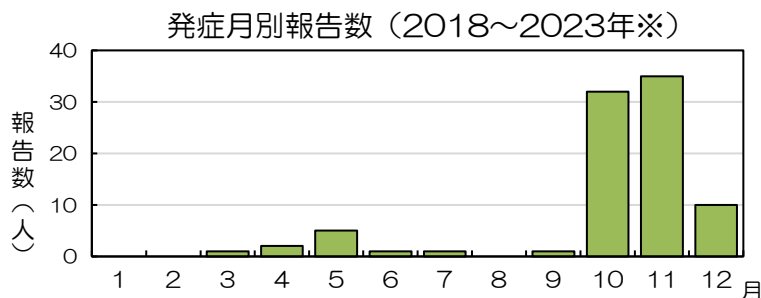
つつが虫病に注意しましょう!

◆ 発生状況

- 群馬県では、毎年10～20例程度の発生報告があります。
- 例年、10月～11月にかけて多く発生しています。
- 吾妻地域、利根沼田地域で特に多く、隣接する地域でも発生がみられます。

年	2018	2019	2020	2021	2022	2023※
報告数	22	22	12	14	16	2

※2023年は第44週までの累計



推定感染地域別報告数 (2018-2023年※)

◆ どんな病気?

- 病原体：つつが虫病リケッチア
- 感染経路：経皮感染（リケッチアを持つツツガムシの幼虫に刺されることで感染）
- 潜伏期間：5～14日
- 症状：発熱、リンパ節腫脹、発しんなど
5～10mm大のかさぶたを伴う刺し口が特徴で、刺し口は足や胸部、腹部などみられることが多い。治療が遅れると致死率が高くなるといわれている。



刺し口の例：国立感染研HPから

◆ 予防方法

農作業・森林作業など野外で作業する時は、ツツガムシに刺されないように注意しましょう。

- 長袖・長ズボン、帽子や手袋等を着用し、首にタオルを巻く等、肌を露出しない。
- シャツの袖口は手袋の中に、裾はズボンの中に入れる。
- ズボンの裾は靴下の中に入れる。
- 草の上に腰をおろしたり、寝転んだりしない。
- 作業中に脱いだ上着やタオルなどを草の上に直接置かない。（衣類にツツガムシが付着する可能性があります。）
- 防虫スプレーを使用する。
- 野外で作業した後は、入浴して着替えをする。



◆ 症状が出たら

- 早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1～2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。
- その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出ましょう。